’06 のべおか
第九

のべおか第九だより（第388号）
2006年11月12日 (日)

○発行　のべおか「第九」を歌う会
○事務局（延岡総合文化センター内）
〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2
電話 (0982)22-1855
http://www.horita.jp/dai-9.html

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。----

本日の内容
佐藤先生の指導を復習

○ A (237～330小節) p.9～17
○ B (411～654小節) p.20～33
○ C (655～762小節) p.34～43
○ D (795～920小節) p.46～58
12月9日まであと**27**日

前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
♦ ソプラノ	28 人	22 人	78.6 %	65.4 点
♥ アルト	56 人	41 人	73.2 %	70.6 点
♣ テノール	21 人	16 人	76.2 %	71.3 点
♠ バス	22 人	15 人	68.2 %	70.0 点
● 合計	127 人	94 人	74.0 %	69.3 点

@佐藤先生の指導　　（11月4日：大地讃頌）

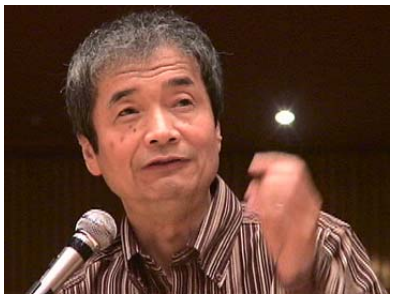
● 3 【たがやしてー たねを まく つちー～】 …今の演奏は上下が合ってなくて、4声が合ってなくてちょっとだらしない感じがしていました。“たねを まく つちー”というフレーズを読み込むcresc.もなくてdim.してしまったり、息の都合でもって強弱がついてたりしていました。何かそういうところはこの前の練習から退化したような気がしました。全体的にはなんとなく慣れているような気もします。
……いろんなテンポが混ざっている人がいます。それもありますね。何だか知らないけど、拍子が合わないですね!?
……もう一回やらしてください。随分良くなった。良くなったといっても縦が合うようになったぐらい（笑）。まだ表情の上で不満があります。それとソプラノのCisがちょっと低いですね。もうちょっとぴったり合ってると素晴らしく栄えると思います。それから“ちー”と全音符がタイになっていますよね。これが次に期待感を持たせるようにしてほしい。

○ 7 【いのちだー あさ あさ ほしを見て】 大変結構なんですけれども、もうちょっと軽い感じにしてください。それからこの間に申し上げたと思いますけど、“ほしを見て”とうたって次のもっと大袈裟版の“ほしを見て”がくるんですけども、そこで心をグッとつかむようにしてください。今の歌い方はそういうものではない。

● 10 【見ーてー たねをはぐくーむ〜】 “たねをはぐくーむ はぐくむつちこそは”この8小節が大きすぎです。もうちょっと弱くして。ppと書いてあると思います。

……強弱をわかってもらおうと“こぉ”やったり“あぁ”やったり!?（笑）。もうこれ以上はやれませんが…。もうちょっと強弱を考えてください。ppの8小節が終わって和音の交代が激しくなってcresc.と申し上げましたけど、皆さんのは2小節目ぐらいで大きくなっちゃうんですよね。もっと計画的に大きくしてください。それから細かくテンポの変化が数字で書いてありますが、無視してください。こちら（指揮）を見ておいてください。どんどん改訂しました。オーケストラ版に書いてある事がこちらになかったりします。ですからこちらを見てそこのところは同じぐらいだと思ってください。テンポの細かい違いは無視してください。見てくださらないと困ります。

● 12 【だ のぞみだ そしーて いのりだ そしーて いのり〜】 “そしーて いのりだ”でストンと落としてください。そして“そしーて”をcresc.してください。次の“いのり”の“り”が大事ですからその時、コレ（指揮棒）を見てください。それで合うと思います。ここでも今はcresc.にムラがありますね。cresc.してくると個人の声が聞こえてきたりするんで!? 全体がうまくいくといいと思います。



● 14 【みのるー まいねんのー やくそくのー 不思議〜】 “まいねん”の“ん”は前回の練習のときのほうが良かったですね。もうちょっと“ん”を露骨に出していただいていいと思います。もうちょっと聞こえたほうがいい。

……“不思議さー”のところをもっと落としてください。神秘的な感じがするように。ここはアカペラですから目立ちますから、そこまで伴奏がついてきて“不思議さー”をもっと弱くしてください。弱いということで不思議というニュアンスが付きやすいと思います。そしてここは伴奏が付いてませんからコーラスがもろに目立つ所ですから、コーラスの音もですけれども、言葉の発音なども気をつけて。聞いているのが日本人なんですから言葉のニュアンスが凄くわかりますから。

◇ 15 【さーーー よー Oh ーーー】 “Oh ーーー”ソプラノ、フラット気味です。

● 18 【ああ だい地 踏んで みて 寝ころんでみてーー たしか〜】 だいたい良いんですけど、この間のほうが颯爽としていました。どこが違うかというとわずかな事なのですが、この間のときのほうが拍が上がる感じがしていたんです。やっぱり日本人は農耕民族ですから鍬を振り下ろすようになりやすいんです。そして“ああましてー”のところがもっとピッタリ合ってほしいんです。閲兵式のときに颯爽と行進するでしょ、そういうようなイメージで。8分音譜がチャッチャッチャッチャッ…となってほしいんです。まさに軍隊的で。

♦ 19 【な だい地ー ああましてー そこくの ましてそこくの つちの〜】 大変結構なんですけど、90点ぐらい。100点になっていないのはソプラノに原因があって“ましてそこくの…”とFが入って高くなる所がありますがそれを出すのにチョロっと遅くなっている。そこ、そこ! そこをもっと非常なまでにしっかりと。

● 22 【おぞらのー ほしを あおいで la la la la - ほしを あおいで〜】 このくらい歌えれば男性は素晴らしいと思いますけども、その前の部分を女性が躍動感あふれてやってくださったんで、ここの“ la la la la -”はもうちょっと颯爽とほしいですね。だって“ la la la la -”なんて軽いわけだから

● 23 【la la la la - たかく あおいーで あるけ あるけ たか〜】 “あおいーで”のFesの音、もっと迫力が欲しい。
……“たかく”…“た　か　く”…アクセントをやるときには多少切ったほうがいいと思いますし、言葉を大事にすれば付けたほうがいいんですけど、これだけ同じのが続くとちょっと変わった、ちょっと切ってください。アクセントを付けるためには構えが要りますよね。そのためにはどうしても開くわけで、そういうような気持ちで切ってください。
……“た　か　く”はもっと極端に言うと言葉よりパッパッパッと切れるような器楽にたまたま歌詞が付いているというような…もうちょっと切ってください。

● 27 【つちーを まもろーうよー そこくのつちーをー〜】 “つちーをー”のフェルマータはお約束です。下で（指揮をみなさんから見て）右→左のときの2で出さないで、3,4。（つちーぃぃぃ↑いをー：“い”を出すのは指揮棒が上がる↑時）…最後の“いをー”となるところは大きな滝がドワァーっとくるような感じがするんですよ。まだ合わせようとする感じがするんです。もっとも合わないと困るんだ（笑）。

● 71 【ははなるだい地の ふとこーろに　われらー ひとの 子のー よろこびはーあ〜】 今回、大地讃頌はその前の楽章の後半からいくようになってますね。そうするとラッパのコラールが鳴ってオーケストラがワーッとなって切れる…そしてオーケストラ版の大地讃頌はバイオリンのシャワシャワシャワ…という感じで入るんですね。凄くそこのコントラストの対比を狙ったわけなんですね。だからシャワシャワシャワ…となって始まった最初の4小節は凄くゆっくり行きたいんです。ちょっとものは相談! だんだんに速くするのもやったんですけど、一番効果がいいのは“ははなるだい地の”をものすごくゆっくり。そして“ふとこーろに”でかなり戻します。そして“われらー ひとの 子のー よろこびはあーる”をそのまま、でここでテンポに戻します。つまり2カ所ギアチェンジをします。オケ版で前から演奏して入ったらこのほうがいいと思います。
……それと、最初の注意点は“声がデカくならないこと”。デカくなったら何の意味もありません。そこは本当にどっから歌ってるかわからないぐらい…。
……弱い中にも音に芯があって神秘的な感じに。

● 77 【よーー たたえよ つちを ははなるだい地をああ たたえよだい地を ああー〜】 最後の部分“たたえよだい地を ああー”、今はみなさんの8分音符を振ってますけど、実はホルンとトロンボーンが“パパパパパパパパ…”と4分音符になってるんです。ホント言うとそこの楽曲の中で一番大事なので、そっちを指揮しますから今みたいに振りません。そちらをやらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

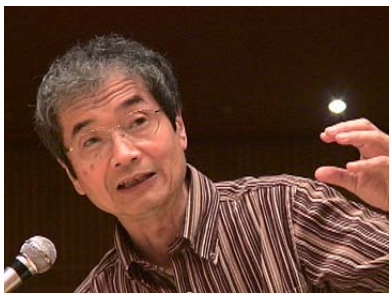
@佐藤先生の指導　　（11月4日：第九）

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ドイツ語ウムラウトの発音“ö”をカタカナで“ォ”と表記してあります。また、ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないようにお願いします。）

○ 261 【--le Men-schen】 大変結構なんですけれども、“al--le”のシンコペーション、“-le”をもう少しはっきり出した方がおもしろいと思うんですけど。強く、きちっとしっかりと。

● 290 【konnt, der steh-le〜】

……ここのdim.がヘタだと思いますし、魅力がないんですよね。今のfpみたいな感じ、極端に言うとね。やっぱり途中にもうちょっと強い所があって小さくなっていったほうがいいと思うんです。今村先生いかがでしょうか? 大変に難しいと思います。
……本当はゆっくりdim.していって、後ろにpと書いてあるところ【291】になにも書いてなくてpになってからもずっとdim.すれば、ずっと遠くに去ってった感じはしますけどね。ここはあとで今村先生と飲みながら相談することにします（笑）。



○ 290 【konnt, der steh-le】 dim.がうまくいけば、もっといいですね。すごく難しいと思います。
★ 290 【お話し】これもベートーベンの作曲に問題があると思うんです。歌詞に合わせて旋律をつくればこんな節にはならないですね。この節をつくったことを前提にしてるからおかしくなっちゃうんですね。…成り変わってお詫び申し上げます（笑）。

○ 291 【wei-nend sich aus】 うしろから2小節目と3小節目のココでノンブレスで行かないでしょうか。そうするとdim.がきれいに聞こえると思います。

♧ 321 【und der】 テノールが2分音符になったところから第2のメロディだと思いますから、なるべく出してください。…ただ、聞こえないですよね（笑）。
……聞こえました! 素敵でした!!

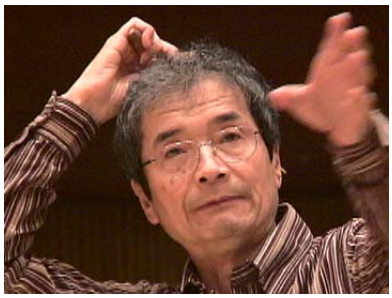
○ 553 【feu-er-】 “feu-er-trun-ken,”というところはもっと気のくるったようにワーッと出してください。

○ 570 【Brü-der,】 “Brü-der,”というのは観念的にsfを書いたのだと思います。あんまりこの言葉をここで強くやっても、なんかちょっと奇妙な感じがします。ベートーベンはいろんな意味でsfを書いているんだと思うんですね。本当にワーッと出していただくのはさっきの“feu-er-trun-ken,”とか…。

● 603 【Seid um-〜】 女性が入ってくる所はもうちょっとビシーッと入ってほしいんですね。豪華な感じがすると思います。アルトのH(シ)の音、そこなんだか踊っちゃってるんですけどね。そのあとソプラノがC(ド)が出て来て第2度でキシるところがシビれるところですから。
……ソプラノはきちんと出てるんだけど、アルトがピシーッと出てないと6度の和音の快感がない!?
……女性の入ってくる所が器楽的というかトランペット2本で入ってくるような感じがしないんですよね、今村先生? 歌詞の関係かしら音が決まらなくてフニャっとなるんです。(今村)「私たちが未熟なだけです」（笑）。

● 611 【Brü-der!〜】 男性のところ、もうちょっと速めていいですか? 今ぐらいのがいいですか、一番気持ちよく歌えるテンポで…。

● 618 【woh-nen.〜】 “woh-nen.”は少し切ったほうがいいですね。



● 622 【zelt muß_〜】 バスが“muß_”と出した次にテノール・アルト、ソプラノの順で“muß_”、“muß_”とsfが書いてありますけども、ここは、はっきりと出した方がいいと思います。そうじゃないと漫然とした感じになってしまいますから…。リズムもありませんから、ここははっきり出していただきたい。

○ 626 【woh-nen.】 できればこの“woh-nen.”はみじかくスタッカート,、切った方がいいです。ここは少し短くした方が表情が出ます。

● 631 【Ihr_ stürzt〜】 ここから出てくる“nie-der,”(632)、“o-nen?”(634)、これらの音は2つとも短いほうがいいと思います。
……“nie-der,”(632)のスタッカートはもっと弾力のあるスタッカートだといいと思うんですけどね。

★ 635 【お話し】これはベートーベンの作曲が凄く上手く出来ていて、4小節ずつ【635〜639・640〜643】普通に行ってるんですけども、“Ah-nest du den Schöpfer … Welt?”【635〜639】って3小節で切って4小節目にスポーンと鳴るようにしてその次【640〜643】も4小節なんですけども同じ和音なんですよね。それをこんなゆっくりな曲で…そういうことを思わず感心してしまいます。これは随分考えて直したんじゃないかと思います。強弱を上手に使ったりフレーズを壊したり

してるんで、それをこちらが活きるようにやるのが良い演奏なんでしょうけども、今のところは先ほどのようにしかできません（笑）。

● 637 【Schöpfer,〜】 今のいけないのは、ここが強くなりすぎてるんですよね。ベートーベンが工夫してるのは言葉も4小節なんですけども、次の“Welt?”ってところで「オッ!」という感じにしようとしてるんですね。その前のここがあまり大きな声だとそれが効かなくなっちゃいますので。だから“1…3,4,5…7”ぐらいにしといて次が“10”にならないと。

♦ 639 【Such' ihn〜】 “ララファファソソ”このところは“きれーい”に“きれーい”に、ものすごーぉく奇麗にやってください。今、ソプラノが弱いんです。音量的にも弱いし、表現もあまりできていないです。
……今度は音量的には聞こえましたが、なんかビブラートがかかっていたり…ここは凄く大変ですよね音域的に…。音楽性が世俗っぽい気がしました。もっと澄んだ感じがいいと思います。
……今歌ったのはどこが悪いと思います? A【640】に入った時すでに大きすぎる。cresc.の魅力がないんですよね。cresc.でしかも澄んだ声で一歩ずつ3和音の伴奏で上がっていって…というそういう感じがしないんですよ。
……最初のA【639】も音程が良くないですね。凄く奇麗になったらいろいろ目立つんですけども、F(ファ)に移った時にピーって音じゃなくてヘナヘナヘナヘナ…とだんだん強くなっている。…人の演奏の悪口云うのはなんでもないよね（笑）。
……ソプラノが主旋律というか、ほかのパートをリードした感じで歌ってください。

○ 646 【woh-nen,】 この“woh-nen,”はsfがやりやすいと思います。ここはコーラスパートだけにsfが書いてありますから、言葉を利用してsfを出して欲しいと思います。
……もう少しsfをくださいね。

● 650 【〜】 そこなんですけども、ppはもっともっと弱い方がいいと思います。人数を減らせば弱くはなるんですけども、大勢で弱い方がムードとしてはいいと思います。それで弱くなるかどうか、物は相談ですが（笑）…弱くするには人を減らせば、半分の人が口だけ開けてれば弱くなるんですけども、そうじゃなくて大勢で弱くするほうがいい。そういう意味で大変ここは難しい所だと思います。

● 655 【〜】 2重フーガの所を凄く速くしてる演奏もありまして、そうすると熱狂的な感じはするんですけども、これは開放的な曲ですので、テーマがもつれあっていく所がおもしろいわけで、うんと速い演奏というのはフルトベングラーのバイロイト版とか和声的な伴奏がついてそれでメロディを追っていくような感じになって、フーガの面白さってのが出ないと思うんですよね。だから音が聞こえるためには今ぐらいのテンポがいいと思うんですけど。速い方が楽だけどな。それからA durからG durに変わるところがありましたね。どうしてそこで“ein_ lie-ber”【758】とム〜っと出るのか本当はおかしいんですけども、曲はそういうところにアクセントがあったほうがいいですね。歌詞からしてはおかしい。ちょっと抵抗を感じますけども、ここは今みなさんがやっているような方法でいいと思います。

◇ 812 【sanf-ter】 最後の部分で一番へたなのはここなんですよね。旋律として表情のあるところですから…この間よりは下手なような気がする。気分が出ないのかどうなのか（笑）。
……今の方がいいと思いますが、それはさっきよりハッキリ聞こえたってだけで…。歌詞もそこは“sanf-ter”とか“Flü-gel”とか優しい言葉だから。…そこだけ棒振りが分けて振ってると「ありゃ何してんだ」ってことに。だから、普通に振っていてうまくいくといいんですけどね。

● 895 【gan-〜】 今村先生、ここはどこで息を吸ってるんですか? “gan----zen Welt, der gan------zen Welt!”ですよね【895〜903】。…どうしてるんですか? 混乱に乗じて息吸ってください（笑）。だからここは吸えばおかしいところで吸いましょうよ。

★ 895 【お話し】これはベートーベンの作曲に無理があります。作曲家というのは言葉を凄く活かしてやっている所と埋め合わせちゃえってところもあって、ここはそうですよ（笑）。うん、ここは僕はそうだと思う。こんなのできないよ!?

★ 920 【お話し】どうもありがとうございました（拍手）。やっと慣れた頃に終わります（笑）。

◆第九がまだ覚えきれていないところがあるので、がんばって覚え　ます。

◆天高く私肥える…（誰か以前書かれていましたね）今日は練習に

そなえてしっかり糖分補給してきましたが歌ってすべて消費しました。
♦9月にまいたかすみ草の種が小さな苗で、もうつぼみをつけ花も咲いたのに…ガンで肺炎で親戚が死んだり弟の仲人を頼んだ人が夕べ亡くなって…
♦ありがとうございました。(夢子)
♦今日はウトウトして覚えがありません。ごめんなさい。(Mike)
♦今日は楽しくリズムにのれた。皆さん、それぞれ聞きながら頑張ってほしいと思います。
♦佐藤先生、お疲れさまでした。一つひとつ指導が身にしみて理解でき、より深い音楽感でこのカンタータを歌うことができそうです。オーケストラとの共演が待ちどうしいでーす。…昼寝をして声を休めたせいか、調子が良かった。(m♪)
♦土の歌への佐藤先生の思いがすごく感じられました。はや11月。練習が強のように揃うといいのですが…いつもなかなか会員が少ない練習ですから、本番に向けて出来るだけ出席しましょうね。
♦佐藤先生どうもありがとうございました。「土の歌」指導、受けるたびに好きになってきます。11月第九の練習、家でも毎日頑張って練習しようと思います。皆様今日はお疲れさまでした。
♦佐藤眞先生御指導ありがとうございました。本番まで残り少なくなってきましたが、残りの練習では先生の細やかなご注意をもっと一人一人が受けとめ、頑張ります。
♦佐藤先生の2回目の御指導、とても素晴らしかったです。(M.Yoshimoto)
♥佐藤先生、ありがとうございます。最後の方、リズムが今からのっていけないみたい。
♥最後の追い込みに入って第九も土の歌ももう一度見直さないといけないですね。
♥あとひとぶんばり。がんばらねばー
♥久しぶりの佐藤先生でした。穏やかな先生の笑顔にいやされます。歌詞をしっかり覚えなくちゃ。
♥素晴らしい御指導、本当に有り難うございました。頑張ります。柳田先生、お疲れさまでございます。
♥土の歌の強弱やクレッシェンド等しっかり勉強して本番にのぞみます。すばらしい出来になりそうで楽しみです。(ヨッチン)
♥今日は佐藤先生の御指導、ありがとうございました。
♥今日は声が出なくて…佐藤先生のお話、先生の音楽に対するお考えの一端が伺えて嬉しかったです。練習も頑張らなくっては。(たぬき)
♥佐藤先生の御指導、さすがに力が入り、汗びっしょりになった。もうすぐ。頑張ります!(Hamu-Star)
♥市民音楽祭おつかれさまでした。「土の歌」うまく歌えるかなーと心配しておりましたが歌えました。うれしかった。今村先生の口の動き、よくわかりました。(ウェンディ)
♥佐藤先生、ありがとうございました。
♥佐藤先生の最後の御指導ありがとうございました。土の歌がまだ完全にマスターしてない私、テープを聞きながら本番までに必ずマスターしたい!!
♥ようやく暗譜できました。第九がむずかしいなぁ〜(ドリーム)
♣指導者はすばらしいです。
♣佐藤先生の指導は良く分かりました。
♣土の歌は第九と同じように歌えば歌うほど好きになります。本番で舞台で歌うと最高でしょうね。がんばります。
♣フーガ? 2重奏? 何ページ、何小節かわからなかった。土の歌はCDを繰り返し聞くこと。暗譜を…。感情を込めてうたえば結構楽しそう……。(ヒロー)
♣風邪がなかなか治りません。みなさまはいかがですか?(river)
♣集合時間を間違えた〜すみません(>_<) 毎回何かドジっています。気をつけます。(かわの)
♣ありがとうございました。(す)
♣今日いつもより発声が出来た。しかし暗譜がまだ約半分位である。後、1カ月頑張ります。
♣今日はよーがんばった! 自分をほめてあげたい!!(K.C.)
♠あと1カ月に迫ってきた。佐藤先生の指導、楽しかった。(グリーンヒル)
♠もうすぐだ頑張ろう。(がみchan)
♠最後の所、すべってしまいました。録音を聴きなおしてやらねば。(マッチャン)

●編集後記

次回は**11**月**23**日（木）19:00〜21:30

佐藤先生の2度目の御指導も終わり、あとは本番に向かって突っ走るだけですね。「土の歌」は暗譜です。先日の練習で先生の指揮をご覧になっていない団員が多かったのか、合わない部分を多く耳にしました。「第九」と違って今後何度も歌える歌ではありませんので、最善の努力をしてください。それと、出席カード、自己採点もできてない団員が多いです。今の「第九」は何点ですか!?【munenori@horita.jp】